

# ほうれんそう



## 主な掲載内容(令和6年7月定例会)

定例会の概要……………2	一般質問……………6	本年9月末の議員任期満了を迎え…12
委員会審査……………4	表紙写真・編集後記……………11	
討論・賛否の状況・決算の認定…5	委員会からの提言・報告……………12	

ほうれんそう/ほうこく・れんらく・そうだんの意味と、ほうれんそうから連想する「パワー」から活力ある議会活動をイメージしています。

令和6年7月定例会

# いわき市宅地造成及び特定盛土等規制法関係手数料 条例の制定など 16議案等を可決・認定・同意

## 定例会の概要

令和6年7月定例会は、7月18日から8月2日までの16日間の日程で行われました。本会議初日に、市長から、条例の制定案1件、改正案2件、補正予算案1件及び決算の認定6件など、計13件の議案が提出され、主な提出議案について説明が行われるとともに、市政を取り巻く諸問題について報告がありました。

また、最終日には、市長から、人事案2件及び諮問1件が追加提出されました。これらの議案等について慎重に審議した結果、いずれも原案のとおり可決・認定・同意されました。

### 条例制定

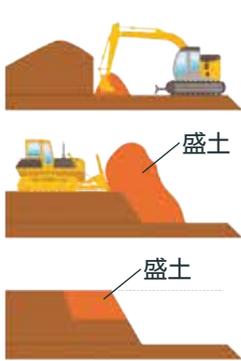
#### ◆いわき市宅地造成及び特定盛土等規制法関係手数料条例の制定

宅地造成及び特定盛土等規制法の規定により行う事務について徴収する手数料に關し必要な事項を定めるため、本条例を制定するものです。

#### 【主な制定内容】

##### ○手数料

規制区域内における宅地造成、特定盛土等または土石の堆積に關する工事の許可の申請及び工事の変更の許可の申請に対する審査に係る手数料の額を規定する。



### 条例改正

#### ◆いわき市自転車等駐車場条例の改正

いわき駅並木通り地区第一種市街地再開発事業の施行にあたり、令和3年3月に廃止したいわき駅前西自転車専用駐車場に替わる施設として、新たに次の駐車場を設置するため、所要の改正を行うものです。

#### 【改正内容】

##### 1 名称及び位置の追加

- ・名称 いわき市並木の杜自転車専用駐車場
- ・位置 平並木の杜1番地



- ・規制区域 市街地や集落、その周辺など、盛土等により人家等に危害を及ぼしうる区域。
- ・特定盛土等規制区域 市街地や集落等から離れているものの、地形等の条件から、盛土等により人家等に危害を及ぼしうる区域。

【施行日】 令和6年9月1日

## 2 供用時間等の追加

入出場ができる時間	午前0時～午後12時
入出場ができない日	無
使用できる自転車等	自転車

【施行日】 市長が規則で定める日

#### いわき市並木の杜自転車専用駐車場

- ▶構造 鉄骨造5階建のうち、1階部分の一部
- ▶延床面積 347.33㎡
- ▶予定収容台数 304台  
2段ラック式
- ▶使用料 無料

#### ◆いわき市駐車場条例の改正

いわき駅並木通り地区第一種市街地再開発事業の施行にあたり、令和3年8月に廃止したいわき駅前西駐車場に替わる施設として、新たに次の駐車場を設置するため、所要の改正を行うものです。

#### 【主な改正内容】

- 1 名称及び位置の追加
- ・名称 いわき市並木の杜駐車場
- ・位置 平並木の杜1番地

**補正予算**  
— 主な事業 —

〈令和6年度いわき市一般会計補正予算（第3号）〉

**補正予算の総額 2億6,774万円**

**総合コールセンター設置運営事業 【補正額】 3億811万1,000円 県内初**

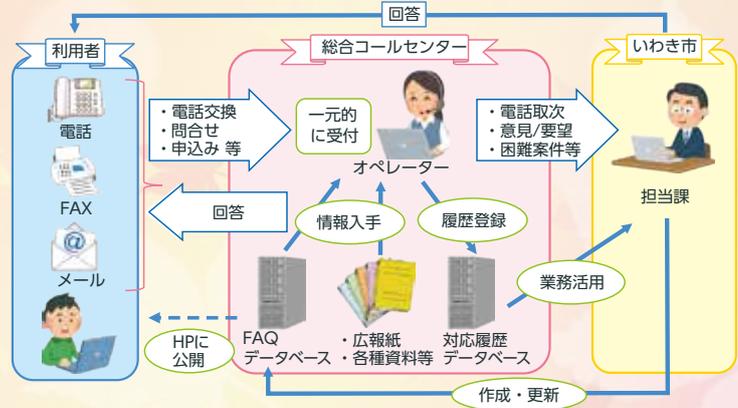
（令和6～10年度 債務負担行為限度額）

DXの進展や住民サービスが多角化するなか、幅広い問合せにワンストップで対応する総合コールセンターを設置し、「案内機能の強化」と「業務の効率化」による市民サービスの向上を図る。

＜＜想定スケジュール＞＞



＜＜総合コールセンター業務のイメージ＞＞



**内郷第一中学校校舎長寿命化改修事業 【補正額】 15億1,756万円**（令和6～8年度 継続費総額）

建築後51年が経過し、校舎及び設備全体の老朽化が著しい内郷第一中学校について、生徒のより良い教育環境を確保するため、仮設校舎を設置の上、長寿命化改修工事を実施する。

総額	年度	年割額
15億1,756万円	R 6	0円
	R 7	9億2,727万2,000円
	R 8	5億9,028万8,000円

— 担当：学校支援課 ☎22-7594(直通) —



**いわき市並木の杜駐車場**

- ▶ 構造 鉄骨造5階建のうち、1～3階部分の一部
- ▶ 延床面積 1,756.38㎡
- ▶ 予定収容台数 121台  
※時間使用 100台  
定期使用 21台

【施行日】市長が規則で定める日

種類	金額
1月券	19,800円
3月券	56,500円
6月券	107,000円
12月券	190,100円

3 定期駐車券の追加

区分	使用料
普通自動車、小型自動車及び軽自動車（積載物も含め、長さ5m以下、高さ2.1m以下及び幅1.95m以下のものに限り。）	40分まで 無料 40分を超え1時間まで 200円 1時間を超えるとき30分までごとに 100円

2 使用料の追加

※ 自動車を入場させた時点から24時間までごとの使用料の額は、1,000円を限度とする。

- 人権擁護委員 蛭井草 田上野 巨久京 洋美子 氏氏氏
- 澤渡財産区管理委員 遠藤 武氏
- 小芳賀住宅光明茂 氏氏氏
- 川部財産区管理委員 氏氏氏

**人事案に同意**



▲建設中の並木の杜駐車場



▲再開発事業の様子

## 委員会 審査

本会議5日目の7月25日に、計7議案の付託を受けた4常任委員会は、7月26日に委員会を開催し、議案審査を行いました。

その結果、いずれも原案のとおり可決すべきものとの結論に達しました。審査の過程では、様々な質疑応答等がありましたので、その一部を掲載します。 Check!

### 政策 総務

常任委員会

#### ◆ 令和6年度いわき市一般会計補正 予算(第3号)

**Q** 総合コールセンターについて、オペレーターの労働条件は、委託事業者が決めるとのことだが、市が一定程度関与すべきでは。

**A** オペレーターの労働条件については、事業者に関係法令を遵守することを求めるとともに、契約締結後においても、モニタリング等しながら、確認することとしています。

#### ◆ 権利の放棄

**Q** 遺言者の相続財産について遺贈を受ける権利を放棄する理由は。

**A** 今回の遺言は、全財産を本市に寄附するとの包括遺贈であり、負債が資産を上回った場合、市の負担が生じるおそれがあるためです。

### 市民 生活

常任委員会

#### ◆ いわき市自転車等駐車場条例の改正

**Q** 自転車専用駐車場内の防犯対策は。

**A** 防犯カメラを4台設置し、管理人室から確認できる体制をとっています。



**Q** 収容台数(304台)の妥当性は。

**A** 従前の自転車専用駐車場の利用実績を勘案して決定しており、妥当な台数であると考えています。

#### ◆ 福島県後期高齢者医療広域連合規約の変更

**Q** マイナ保険証の住民基本台帳への紐づけを誤った事例は。

**A** 本市では確認されていません。

### 教育 福祉

常任委員会

#### ◆ 令和6年度いわき市一般会計補正 予算(第3号)

**Q** 妊婦にやさしい遠方出産支援事業費について、市外での出産に係る過去の実績は。

**A** 本事業の主な対象者と想定している福島県立医科大学附属病院での過去3年の出産数は、令和3年度は14名、令和4年度は4名、令和5年度は8名です。



**Q** 放課後児童クラブへの放課後児童支援員の配置状況は。

**A** 市内の放課後児童クラブについては、総じて支援員が2名配置されている旨、各クラブより報告されていますが、改めて確認していきます。

### 産業 建設

常任委員会

#### ◆ いわき市宅地造成及び特定盛土等 規制法関係手数料条例の制定

**Q** 一時的な土石の堆積である仮置き許可期間は5年とされているが、許可期間中に問題が生じた場合の罰則規定は。

**A** 最大で懲役3年以下または罰金1,000万円以下、さらに法人の場合は、法人重科3億円以下とされています。

#### ◆ 令和6年度いわき市一般会計補正予算 (第3号)

**Q** 磐城小川江筋用水路の復旧工事の完成時期は。

**A** 工事完成時期は、令和7年3月31日としています。

磐城小川江筋用水路の  
工事箇所▶



## 討論

本会議最終日の8月2日には、市長から提出された議案に対し、反対及び賛成の立場から討論を行いましたので、その主なものを掲載します。  
※ 本議案は、賛成多数により可決しました。

### 討論とは？

表決に先立ち行う、議案等に対する賛成か反対かの自己の意見の表明

## 福島県後期高齢者医療広域連合規約の変更について

### 反対



「マイナンバー法等の一部改正法」の公布により、マイナンバーカードと健康保険証が一体化されることに伴い、現行の後期高齢者医療被保険者証は12月2日に廃止される。マイナ保険証を保有しない後期高齢者には、資格確認証を当分の間交付するが、交付されなくなった場合の受診方法は明らかにされていない。よって、マイナ保険証の押し付けは、医療現場に混乱を招き、医療機関の廃院に拍車をかけることになりかねず、また、マイナ保険証によるオンライン資格確認等システムの利用は患者のプライバシーの侵害につながるようになるため、反対である。

### 賛成



マイナ保険証については、本人の同意があれば、過去の健康診断や医療データ等に基づいた、より適切な医療を提供することができるようになるなど、様々なメリットがある。さらに、国民の不安払拭のため、登録済みデータの総点検や再発防止策の取組が進められている。よって、福島県後期高齢者医療広域連合が処理する事務に変更が生じることに伴い、規約が変更されることから、地方自治法に基づき、議会の議決を求めるものであり、妥当であると考えため、賛成である。

### 反対



政府は、マイナ保険証の利用促進のために、令和5年度の補正予算で217億円を使っているが、全国的にも、本市の後期高齢者被保険者と国保被保険者のいずれも9割が紙の保険証を使っている。また、マイナ保険証の導入を押し付けている結果として、全国的には廃業する医療機関も出ている。よって、地方で医者不足が言われる中で逆行するものとなっており、紙の健康保険証を残すべきであるため、反対である。

## 議案に対する賛否の状況

本会議最終日の8月2日には、今期定例会に提案された議案に対する採決を行いました。採決にあたり、賛否の分かれた3議案について、会派ごとの賛否の状況を掲載します。

※ 下表中の（ ）は、会派の所属議員数です（議長は採決に加わりません）。創世会は、欠席議員1名が採決に加わりません。

議案名	議決結果	一誠会 (9人)		志帥会 (8人)		創世会 (7人)		公明党 (4人)		つつじの会 (2人)		共産党市議団 (2人)		自民党改革の会 (1人)		正論の会 (1人)		市民の会 (1人)	
		賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対
		令和5年度いわき市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定	9		7		6	4	2			2		1	1			1
令和5年度いわき市病院事業会計決算の認定について	認定	9		7		6	4	2			2		1	1			1		
福島県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	原案可決	9		7		6	4	2			2	1		1			1		

## NEWS

### 決算の認定 - 企業会計決算特別委員会 -

令和5年度企業会計決算の認定に関しては、企業会計決算特別委員会を設置の上、専門的な立場から審査を行いました。委員構成は、右のとおりです。

- ◎田頭 弘毅 ○木田都城子
- 川崎 憲正 長谷川貴士
- 吉田 雅人 高橋 明子
- 狩野 光昭 平子 善一
- 小野 茂 上壁 充
- (◎=委員長、○=副委員長)



▲企業会計決算特別委員会の様子

13名の議員が4日間にわたって論戦を展開

そこが知りたい

# 一般質問



## 小名浜地区の活力あるまちづくりは

**問** 防波堤の活用を含めた釣り文化振興モデル港としての今後の展開は。

■QRコードを読み込むと、質問議員の録画映像にリンクします。

一般質問は、7月22日から25日までの4日間にわたって行われ、13名の議員が質問を行いました。その中から主なものを掲載します。なお、この文章は質問議員自らが作成しており、行数は発言時間に比例します。

## 次世代の教育情報化推進事業は



一誠会  
馬上一卓也



**問** タブレット端末による家庭学習での利用状況や学校と家庭の連携に向けた取組は。

**答** 家庭では、デジタルドリルでの予習・復習にタブレット端末を活用しています。また、学校だより等を電子データで配信するなど、双方向通信で活用することで学校と家庭の信頼関係の構築につながるということが期待されます。

に積極的に取り組みます。



▲道の駅の登録を目指すいわき・ら・ら・ミュウ

## 医療資源を地域で共有するためには

**問** 病院と診療所の役割は。診療所は、かかりつけ医として、日常行う医療を提供し、専門性を超える場合、適切な医療機関を紹介する役割を担っています。病院は、他の医療機関との連携、急性期患者の早期安定化に向けた医療の提供、在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションの提供等の役割を担っています。

**答** 診療所確保の取組は。市外の医師による本市での診療所開設を促進するため、費用を補助する制度を設けています。診療所数の減少は、市民の利便性低下のみならず、

病院の負担が増加することも懸念されます。このため、現行の補助制度の見直しを含め、既存の診療所の承継を促す施策についても市医療連携協議会等での協議を継続します。

○小名浜港の活性化は  
○小名浜地区の公共施設は

## 福島国際研究教育機構 (F・REI) が進める研究活動は



志帥会  
西山一美

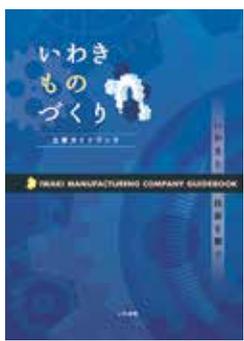


**問** 市内企業とF・REIとの連携について、これまでの経過を踏まえ、市はどのように産業活性化につなげていく考えなのか。

**答** F・REIと市内企業を橋渡しする取組として、市内企業を紹介するガイドブックをF・REIの開所に合わせて作成し、連携企画官の配置や協定締結との相乗効果で連携強化に弾みをつけました。また、市内企業の技術力や意欲をF・REIの研究者にしっかりと伝えるためには、アカデミックな観点からアプローチする必要性も痛感したこ

とから、福島大学で関連する研究を行う教授を企業に紹介し、共同でF・REIに訴えかけるような工夫も行いました。この結果、市内企業等がF・REIの研究に関わる件数5件といった目標を前倒しで達成することができました。今後は、市内企業等が関わる研究活動が円滑に進むよう支援しながら、その研究成果が、市内産業の競争力強化につながるよう取り組みます。さらに、F・REIとの連携強化を市内外の若者や女性が「いわきで働いてみたい」と思えるような、魅力的な働く場の創出にもつなげていきたいと考えています。

## 路線バスを利用する市内の小中学生の登下校の状況は



▲いわきものづくり企業ガイドブック

**問** 非常警交通機では、今後のダイヤ改正において児童生徒等への影響を考慮し、より利用しやすいダイヤとする考

えを持っているか。

**答** 本年4月のダイヤ改正については、市民の皆様より、新常磐交通(株)や市に対し、数多くのご意見や要望が寄せられています。新常磐交通(株)では、これらの意見等を真摯に受け止め、公共交通へのニーズと運転手の確保など、バスの運行に向けた諸状況を総合的に勘案しながら、ダイヤの改善に向けた検討を進めていくこととしています。特に、小中学校の児童生徒が利用しやすいダイヤへの改善については学校関係者からのご意見をしっかりと受け止め、検討を進めたいとの意向が示されています。

保育所の今後は。

**答** 3保育所は、耐用年限を大幅に超過し、近年の利用率が低い状況です。3施設を維持し続けることは困難であり、それぞれの周辺地域に民間施設も含め、保育需要を担う受け皿の確保が見込まれるため、いずれも廃止すべきと判断しました。廃止時期は、現在入所中の児童の保育期間が満了する令和10年度末としました。

**問** 押し付けにならない、市民要望を反映した合意形成を。

**答** 保育所は、地域と密接に連携する児童福祉施設であることから、公立保育所を取り巻く現状やそれを踏まえた在り方見直しの趣旨について、保護者のもとより、地域住民の皆様とも対話する機会を設けていきます。

### 農家への直接支払制度の促進と継続的支援を

**問** どのように進めるのか。

**答** 中山間地域等直接支払制度に取り組んでいる78組織及び多面的機能支払制度に取り組んでいる49組織については、活動が維持継続できるように取組を支援し、活動維持の困難が想定される地域は、組織の

統合等を促進し、活動の維持・発展を支援します。

### 工事入札の透明性の確保へ向けた制度の改善を

**問** 入札問題の未然防止は。

**答** 不正行為は決して許されるものではなく、疑いがあるものはしっかりと調査を進めます。今後は、「水道局の設計単価の誤りによる工事契約解除に係る調査確認委員会」の改善措置の検討や内郷白水町の市営住宅解体工事の確認の状況等も考慮しつつ、制度等の改善の必要性についても検討をしていく考えです。

### いわきFC新スタジアムへの市の財政負担は

**問** 財政負担を進めるのか。

**答** 整備計画の要となる用地取得に係る調整や各方面からの資金調達等で、さらなる連携協力を進めていきます。

### 湯本駅周辺土地区画整理事業には市民意見の反映を

**問** 今後の対応は。

**答** 権利者の皆様に対する説明、意見交換及び面談等を通して、きめ細かく意向等を把握し、地域の皆様にも、引き

続き丁寧な説明を行い、合意形成に努めます。



▲いわき湯本駅前の様子

### 子供の不登校対策は



**問** 不登校児童生徒の状況は。

**答** 令和4年度は、小学校127名、中学校346名であり、増加傾向にあります。

**問** 出席扱いとなるフリースクール等の利活用は。

**答** 利活用には、各学校や市教育委員会が連携を密にし、各施設の活動の総合的判断が大切であると認識しています。

保健福祉土等の専門職も加わり、対応を検討することもあり、関係者間での連携が大切であると認識しています。

### ひきこもりに対する支援は

**問** 重層的支援が必要では。

**答** 複雑化・複合化する問題に対し、既存制度の枠を超えた支援を行う必要があるため、市では、相談支援・参加支援・地域づくりに向けた支援を一体的に実施する重層的支援体制整備事業の来年度からの本格実施に向け、移行準備を行っています。今年度中にはアクションプランを策定することとしており、着実に包括的な支援体制の構築を進めます。

### 太古のロマンに馳せる本市の観光行政は

**問** 石炭・化石館ほるる40周年事業の取組は。

**答** 当館ゆかりの著名な古生物学者による記念講演会や企画展等を開催する予定です。

**問** 本市の観光施策は。

**答** 本市の地層の特徴を積極的に発信するほか、石炭・化石館ほるるやアンモナイトセンターの体験型展示を磨き上



### 公立保育所の在り方見直しには市民の合意が必要

**問** 鹿島、窪田、久之浜の3

げ、誘客促進に努めます。

### 特色ある

## 地域おこしの取組は

**問** 遠野和紙の利用促進は。

**答** 引き続き、卒業証書等への利用をはじめ、地域住民、伝統工芸遠野和紙・楮保存会、地域おこし協力隊と連携した遠野和紙あかり展や紙漉き体験等を通じて、魅力を発信するとともに、販路開拓等に向けた支援等を行う考えです。



▲令和5年度 遠野和紙あかり展の様子

## 再生可能エネルギーと地域との共生に向けた取組は

**問** 新たな仕組みの構築は。

**答** 現在、条例制定に向けた作業を進めており、制定により、再生可能エネルギーの導

入促進と地域の安心・安全の確保を両立する新たな仕組みを構築したい考えです。



## 構造改革の推進を

**問** 構造改革の進捗は。

**答** 「いわき版骨太の方針」に掲げる5つの柱に沿って申し上げます。

1つ目は、市民利便性の向上です。これまで、行政手続のオンライン化やおでかけ市役所の導入など、市民サービスをより便利にする取組を進めてきました。加えて、今年度は、LINE市役所やワンストップで市民対応を行う総合コールセンターの運用開始に向け、準備を進めています。2つ目は、職員の生産性向上です。これまで、デジタルベースで業務を行うための環境整備に力を入れ、業務のペーパーレス化が着実に浸透しています。今後は、契約・会計など、様々な行政分野で、アナログからデジタルへと運用を段階的に切り替え、さらなる効率化を図ります。

3つ目は、公共施設の最適化です。本年5月、施設ごとの今後の方針を明記した個別施設計画を策定しましたので、今後、各施設の在り方について、市民との丁寧な対話を進めます。また、公共施設の管理水準向上や事故リスクの軽減に向け、維持管理に係る包括的委託の導入を進めます。

4つ目は、行財政マネジメントの仕組みの強化です。今年度、試行的な会議体の見直しや、政策形成のスピードアップを図っています。今後は予算編成・運用の簡素化で負荷軽減を図り、効果的な行財政マネジメントにつなげます。

5つ目は、人材マネジメントの最適化です。これまで、新たな人事評価制度の試行的な実施など、効果的な人材活用の仕組みづくりに取り組んできました。今年度は、オンライン研修サービスの導入等により、デジタル人材の育成を強化し、循環型ワーキンググループを実施し、若手職員の意識改革や育成に注力する考えです。

今後も、各分野において着実に取組を積み重ね、改革・改善を前進させます。

**問** 総合コールセンターの業務内容は。

**答** 電話やFAX、メールによる市民からの問合せや御意見・御要望等への対応業務、各種予約等の申込受付業務に加えて、問合せ内容や対応履歴の記録業務、FAQのサイト運営等を想定しています。



### ■その他の質問

○森林経営管理制度の取組は  
○好間地区の防災への取組は

## 子供の屋内遊び場の拡充を

**問** 市内遊び場の拡充について、市の所見は。

**答** 本市の屋内遊び場は、公立施設3か所、民間施設5か所の計8か所あることから、わかりやすく情報発信し、多くの子供たちやその家族が利用できるよう努めていきます。



## 子供の口腔衛生に係る取組は

**問** 歯列矯正に対する費用の助成について、市の所見は。

**答** 矯正治療は、一般的に保険適用外であるため、全額自己負担となりますが、令和6年度の保険診療報酬の改訂では、歯科矯正の保険適用疾患が、5疾患追加されるなど、保険適用の拡充に向けた動きがあることから、国の動向を注視してまいります。

## 産後の家事・育児支援の充実を

**問** 産前・産後ヘルパー派遣事業に産後ドゥーラを活用してはどうか。

**答** 自治体の中には、支援事業者の一つとして、産後ドゥーラを活用している事例もありますが、福島県内で活動している方は数名であり、本市での当面の活用は困難であると考えます。

### 【産後ドゥーラ】

産前産後の女性特有のニーズに比べ、心身の安定と産後の身体の回復、赤ちゃんの育児や新しい生活へのスムーズな導入を目的に

母親の気持ちに寄り添った、母親のサポートを行う人。

### 子ども食堂の活動への支援は

**問** 今後の取組は。

**答** 子ども食堂の運営は、活動資金の確保が必要となることから、市内企業等から寄附を募るための講座を開設するなど、既存の運営団体が自走できる仕組みづくりを重点を置いた支援に努めます。



▲子ども食堂の様子

### 高齢運転者対策は

**問** 免許証自主返納者がシニアカーを購入する際、購入費の一部を助成すべきでは。

**答** 要介護2以上の認定を受けている方で、シニアカーを希望する方に貸与しています。

### 外国人住民の受け入れ環境の整備は

**問** 外国人児童生徒のための

初期適応指導教室の設置を検討すべきでは。

**答** 先進的に取り組んでいる四日市市など、他自治体の動向を注視していきます。また、本市においては、多様化する出身地や日本語の習熟度等に応じたきめ細かな支援を実施しており、この取組をより充実したいと考えています。



創世会 上壁 充



### 鮫川水系山田川の河川改修等は

**問** 堆積物の除去はいつ頃行えるのか。

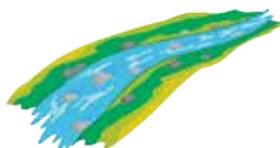
**答** 県からは、河川断面を大きく阻害している箇所から優先的に堆積物を除去し、今後土砂の堆積や樹木の繁茂状況を踏まえ、堆積物等の除去に取り組むと伺っています。

### 蛭田川の河川改修等は

**問** 河川内工作物の撤去は。

**答** 県は、河川内工作物の設置された目的や構造等について調査を行い、川の流れを妨げ、洪水氾濫の原因となっている場合には、工作物の撤去

等を検討することです。



### 勿来「関の子広場」の支援は

**問** 地域住民による自主防犯活動が継続していただけるよう市が支援するべきでは。

**答** 今後も、これまでの支援を継続するとともに、地域住民の皆様と情報交換の場を持つこと等により、ニーズの把握に努め、引き続き、自主的な防犯活動等が継続していただけるよう、支援していく考えです。



共産党市議員 高橋 明子



### 小中学校のトイレ・手洗い場に生理用品の設置を

**問** 行政視察を行った二本松南小学校のトイレの手洗い場

には、生理用品の設置に加え、「心配なことがあったら保健室に来てね。」と記載された

張り紙があったことから、本市で実施できないのか。

**答** 一部の学校では、トイレの個室や手洗い場に生理用品を設置しています。今後も、子供たちの気持ちに寄り添った対応を検討していきます。

### 教育や子供の権利の観点から学校給食を無償とすべき

**問** 県内3市20町12村では予算規模の約1%で給食費を無償としていることから、必要な予算規模が約0・9%の本

市でも無償とすべきでは。  
**答** 今後も、国の動向を注視していきます。



▲給食の様子

### マイナンバーカードを健康保険証として利用登録することは任意

**問** 紙の健康保険証はいつまで使えるのか。

**答** 現行の健康保険証の発行は令和6年12月2日に終了す

るものの、手元にある有効な保険証は、最大一年間使用することができま



一誠会 吉田 雅人



### 21世紀の森公園スケートボード広場における安全確保に向けた取組は

**問** 利用状況は。

**答** 利用登録者は、令和6年6月末までで、1866人となっております。このほか、市主催による小学生を対象とした体験教室を行っており、令和5年度は計4回の開催で、延べ70人の参加がありました。

**問** 安全確保のための方策は。  
**答** 利用にあたっての注意事項は、利用者登録の際に説明し、誓約書の提出を求めるとともに、広場内に看板を設置して周知を図っています。

**問** これまでに発生した事故は。  
**答** 足の骨折や脱臼、膝の裂傷等の5件です。

**問** 利用者同士のトラブルは。  
**答** 無許可でスケートボード教室が開催され、施設が一部占有されているなど、利用マナーに関するトラブルの連絡が1件ありました。

**問** 利用者間トラブルの防止や一部利用者による占有利用等为了避免するための方策は。

**答** 不適切な利用がないよう、巡視を強化するほか、現行のルールを検証し、必要な措置を講ずることにより、利用者が安全に広場を利用できるように、取り組んでいきます。

**水道局における  
工事契約解除に係る対応は**

**問** 事案発生直後から、捜査機関への依頼・相談も視野に対応すべきと考えるが、同様事案への今後の対応は。

**答** 個別具体的な事案ごとに、関係機関とも協議を行いながら、捜査機関への相談も選択肢として、適時適切に対応していきたいと考えています。

**平字田町で発生した  
火災への対応は**

**問** タスクフォースにおける取組の経過は。

**答** 2回の会議や実務者の意見交換、建物所有者との連絡調整等を行い、市道の規制解除や火災廃棄物の撤去等の課題への対応を進めてきました。一方、産業界からは周辺の衛生対策や資金的後押し、撤去

作業の手伝いなど、幅広い協力の提案も受けました。そのため、タスクフォースでは、それらの提案を実現するための方策等について検討を開始しています。

**問** 今後のタスクフォースにおける取組は。

**答** いわき駅前中心市街地の賑わい創出の歩みを止めないという思いを官民で共有し、知恵を出し合って進めます。



▲平字田町火災発生直後の様子



**避難行動要支援者の  
個別避難計画策定の推進を**

**問** 個別避難計画の策定が重要な対象者数と策定状況は。

**答** 6月末現在の計画作成対

象者数は、1万4203人で、災害リスクの高い地域にお住まいの6445人を優先して作成を進めています。また、簡易アンケート調査で自力避難が困難と回答された方のうち316人、自力避難が可能と回答された方のうち1078人が作成済みです。

**いわきスマートタウンモデル地区  
推進事業での高齢者を支える取組は**

**問** デジタル技術を活用したサービスを、どのように地区内の高齢者へ提供するのか。

**答** 事業者からは、行動経路の確認ができる見守りサービス、買い物支援、AIを活用したオンデマンド型の相乗り交通サービスの提案を受けています。デジタル機器の操作が難しいと感じる高齢者には、住まいに近い場所で対面により受けられるサポートが重要であると認識し、各サービスが安心して利用できるよう、事業者と協議を進めます。

■その他の質問  
○成年後見制度の取組は



**DV根絶と  
被害者支援の充実を**



**問** DVに係る相談件数の過去3年の推移は。

**答** 令和3年度が283件、4年度が313件、5年度が275件です。

**問** 女性相談支援員の拡充は。

**答** 本年4月に「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が施行されたことにより、DV被害者をはじめ、年齢、障がい、国籍を問わず困難な問題を抱える女性全般が支援の対象となりました。そのため、DV被害以外の相談・支援件数の増加や、相談内容の複雑・多様化が見込まれるため、女性相談支援員の人員は2名のままですが、バックアップ体制を整備し、支援体制の強化を図ることを検討しています。

**問** 配偶者暴力相談支援センターの設置は。

**答** DV被害者支援の充実・強化を図るため、センター設置に向けて、検討を進めます。

**子供の登下校の  
安全対策は**

**問** 立哨当番の課題について市としてできることは。

**答** 教育委員会としましては、市長部局とも連携の上、地域住民の方々や保護者等の理解・協力を得る取組について、今後、検討します。

**問** 交通教育専門員の課題は。

**答** 現在、委嘱している交通教育専門員の平均年齢が75歳と高齢化していることに伴い、健康面を理由に退任する方が増えており、欠員が生じても成り手が見つかりにくい状況が続いています。



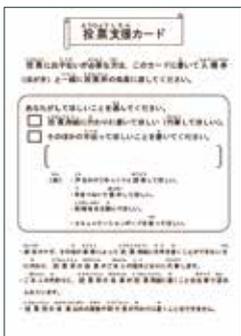
**障がいのある方への  
配慮の取組は**



**問** 投票環境の整備等に向けた投票支援カードの活用さらなる周知強化は。

**答** 投票支援カードは、市公式ホームページへ掲載し、支所・公民館等へ設置すると

もに、広報いわきや各種メディアを活用することにより、周知・広報に努めています。加えて、今年度は、新たに、重度の視覚障がいがある方へ郵送する「音声コード付き選挙のご案内」における周知も行うこととしています。今後は、障がいのある方に配布している「くらしのおてつだい」や全ての選挙人に郵送している「選挙のおしらせ」による周知も検討していきます。



▲投票支援カード

**問** 教育現場における障がい児に係る手続等について、デジタル化も含めた簡素化は。  
**答** 給付制度に係る手続については、現在、保護者から各学校を通じ、申請書や収入額・需要額調書に加え、添付資料として、振込先口座の通帳の写し等の提出を求めています。同一世帯であっても、小中学校ごとに申請書を作成し、その対象者ごとに収入額・需要額調書の作成をする

こととなるため、一部、保護者の負担が生じていることも考えられます。そのため、保護者の負担を軽減できるように、可能な範囲で、申請書等の簡素化に係る見直しを検討していきます。また、手続のデジタル化については、保護者の利便性向上を図るとともに、職員の業務の効率化も期待できることから、他市の先進事例を調査・研究していきます。



**大雨による浸水対策は**

**問** 新川・宮川の浸水対策は。  
**答** 県では、宮川に架かる占有者が不明な橋梁の撤去、河床掘削・河道拡幅のための現地測量や設計を進めます。市は、県と連携し、内郷地区での住民説明会等を実施します。

**買い物・通院・通学のための移動手段確保の取組を**

**問** 1人あたり年間3万円を交付する北茨城市域交通利用券と同等の取組を実施すべきでは。  
**答** 人口や面積、目的地まで

の移動距離等が異なり、現実的ではないと捉えています。  
**問** 中山間地における移動手段の構築は。  
**答** 小川地区では、住民の移動実態やニーズ等を調査し、地域に相応しい移動手段の確保に向けた検討を行います。

**女性が活躍できる魅力的な働く場の創設と最低賃金上げを**

**問** 市独自の工場等立地奨励金及び本社機能移転等事業者奨励金の効果は。  
**答** 研究開発や総務・管理、情報処理部門など、若者や女性が魅力を感じ、やりがいを実現できる職種の創出につながっています。

**問** 最低賃金1500円の早期実現に向けた考えは。  
**答** 国の支援制度の周知広報や市独自の上乗せ補助等で企業の賃上げを後押しします。

**公共施設等の数を半減する市の「個別施設計画」に懸念**

**問** 2060年頃に公共施設等の数を約半分に縮減する個別施設計画は、住民サービス低下につながるのではとの市民の意見に対する考えは。  
**答** 公共施設等の数を半減す

ることが前提ではなく、市民サービスの低下を招かない方針を市民の皆様と考えていくことが重要と認識しています。

**山や鳴き砂等で観光振興を**

**問** 障がい者等の方が安心して旅行ができる取組は。  
**答** 観光サイト内にバリアフリー情報を追加するなど、環境づくりに努めます。

**問** 冬山宣伝等の取組は。  
**答** 登山後の温泉入浴や食事等の情報発信に努めます。

**問** 鳴き砂の観光資源としての活用は。  
**答** NPO法人鳴き砂を守る会と連携し、PRします。



▲鳴き砂で製作された砂像

■その他の質問  
 ○消費者問題に対する取組は

**表紙写真**

フラワーセンターで撮影したモミジアオイ。花言葉は「努力の賜物」です。7月議会は今任期最後の定例会となりました。議員一同のこれまでの努力がしっかりと実ることを願って、この写真を選びました。夏から秋にかけて、鮮やかな緋色に咲き誇るモミジアオイ。緋色は、古来から活力の象徴とされてきた色です。

これからも強い意志を持ち、最後まで情熱をぶつける議会になることを願って。

この原稿を作成している今、太陽を見つめ、向きを変えるヒマワリが咲き誇る季節となりました。ヒマワリの花言葉の一つに「光輝」があります。光り輝く、誉れ等を意味し、サンシャインいわきにも通じると感じます。市議会は7月定例会を最後に改選を迎えます。これまで、本紙編集に御尽力をいただいた皆様にご心から感謝を申し上げますとともに、皆様が誇りに思えるサンシャインいわきに向け、邁進していくことを誓います。(議会報編集委員)

## 委員会からの提言・報告

### 災害等対策推進特別委員会

自然災害等に対する防災・減災・克災等に向けた政策に関する事項の調査等の結果を踏まえ、今期定例会最終日に委員長報告として、市へ提言しました。

詳細はこちらから→



▲東池袋雨水調整池での現地視察



▲委員長報告による提言（7月定例会）

### デジタル社会検討特別委員会

DXが世界の潮流となる中、本市におけるデジタル社会の実現に向けた課題等の調査等の結果を踏まえ、今期定例会最終日に委員長報告として、市へ提言しました。

詳細はこちらから→



▲「神戸市のDXについて」の行政視察



▲委員長報告による提言（7月定例会）

### 議会改革推進検討委員会

市議会におけるICT化の推進に向けて、ペーパーレス会議システムの試行運用など、今期の調査検討事項の結果や次期への引継事項をとりまとめ、議長に報告しました。

詳細はこちらから→



▲議会改革推進検討委員会の様子



▲正副委員長から正副議長へ報告

### 政策提案検討委員会

「再生可能エネルギー発電施設の適正な導入及び管理に関する提言書」に関して調査・検討を進め、とりまとめた結果を議長に報告しました。

詳細はこちらから→



▲ユースタ人ウインドファームの現地視察



▲正副委員長から正副議長へ報告



今期定例会は、議員と市長等が、最後の論戦を交えた定例会となりました。

**本年9月末の議員任期満了を迎え**

次期定例会の日程は、いわき市議会事務局へお問い合わせください。  
いわき市議会公式ホームページからも、いわき市議会だより「ほうれんそう」データ版をご覧ください。

詳細はこちら

